

港区将来ビジョン 令和２年度実績

I. 災害に備えたまちづくり

指 標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和２年度)	目標値 (令和５年度)	実績値に対する評価
災害に備えたまちづくりの取組事項と主な実績について「十分」「おおむね十分」と思う区民の割合（アンケート値）	５３．３％	４６．４％	６０％	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動が制限されてしまい、実績値が現状値を下回っております。近年増加している豪雨や地震などの災害への備え及び避難所での新型コロナウイルス感染症対策などについて、引き続き訓練や啓発を行っていく必要があると考えております。
地区防災カルテを活用した防災活動に取り組んでいる学区の割合	１００％	１００％	１００％	感染症に対応した実施方法を検討し、令和２年度においても、すべての学区において地区防災カルテを活用した防災活動に取り組むことができました。
「無事ですカード」を活用した安否確認体制づくりに取り組んだ学区の割合（累計）	２５％	３０％	４５％	新型コロナウイルス感染症対策のため、さまざまな活動が制限される中、新たに安否確認体制づくりに取り組む学区を支援することができました。
寝室の家具等に転倒防止対策を行っている区民の割合（アンケート値）	５２．９％	６０．３％	１００％	新型コロナウイルス感染症対策のため、さまざまな制約がある中、令和元年度から開始した消防局が実施する戸別訪問事業のほか、自主防災訓練等の地域行事等を通じて啓発を行い、一定の成果を得ることができました。（令和２年度の戸別訪問事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により次年度へ延期）
妊婦・乳幼児の親の非常持出品の備え率（３カ月健康診査時アンケート値）	３６．８％	２６．８％	１００％	新型コロナウイルス感染症対策のため、啓発活動が制限されてしまい、実績値が現状値を下回っております。今後とも丁寧な啓発を実施することで目標値の達成を目指したいと考えております。

II. 安心・安全で快適なまちづくり

指 標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和２年度)	目標値 (令和５年度)	実績値に対する評価
主要罪種（※１）の犯罪件数（年間）	５１２件	４５４件	４５０件以下	防犯キャンペーンや職員によるパトロール等の犯罪情勢に合わせた活動により、目標値に向かって指標が減少しております。
交通事故死傷者数（年間）	６８８人	６５２人	６５０人以下	交通安全キャンペーンや職員による交通事故多発交差点での啓発活動により、目標値に向かって指標が減少しております。
空地清掃率（※２）	６４．５％ (平成３０年度)	８２％	７０％以上	広報なごや等の啓発により、市民の方の意識の醸成が進んだ結果だと思われます。このまま継続して啓発を行っていきたいと考えております。
なごやかキャット推進事業（※３）の認知度（アンケート値）	１０．５％	１１．８％	１７％	なごやかキャット推進事業の認知度は、目標値には達しなかったものの、昨年度の１０．５％から僅かではあるが上昇していることから、確実に認知はすすんでいると考えております。

※１ 主要罪種 …体感治安に影響を与えやすい罪種のうち本市が指定する罪種であり、「強盗」「恐喝」「侵入盗」「自動車盗」「オートバイ盗」「自転車盗」「部品ねらい」「車上ねらい」「ひったくり」「自動販売機ねらい」のことを指します。

※２ 空地清掃率…港区が清掃（除草）を依頼した空地件数のうち対応が確認できた件数の割合を指します。

※３ なごやかキャット推進事業…のら猫（特定の飼主のいない猫）に手術を行い、一代限りとした上で適切にエサやトイレの世話をを行う地域住民等に対して、手術に要する費用を補助することにより、地域におけるのら猫による迷惑防止を図るものです。

Ⅲ. 子育て支援と健康福祉のまちづくり

指 標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和２年度)	目標値 (令和５年度)	実績値に対する評価
子育てしやすいまちだと思ふ区民の割合（アンケート値）	２９．８％	５７．７％	４０％	子育て支援情報の発信や赤ちゃん訪問を実施したことにより、子育ての負担感や孤立感を一定軽減できたものと認識しております。引き続き妊娠初期からの切れ目ない寄り添い支援及び、子育て支援施策の充実に努めてまいりたいと考えております。
児童虐待の相談窓口を知っている区民の割合（アンケート値）	３５．６％	３８．７％	５０％	オレンジリボンキャンペーン等を通じて啓発を行ったことにより、一定の周知が図られたものと認識しておりますが、児童虐待の早期発見・早期対応のため、よりいっそうの周知・啓発に努めてまいりたいと考えております。
困った時に相談できる人が隣近所や地域にいる高齢者の割合（アンケート値）	５３．５％	６０．４％	６５％	地域包括ケア推進会議のもと、関係機関と連携し普及啓発を図った結果、割合を増加することができました。 目標値を達成できるよう、引き続き、高齢者が地域において自立した日常生活を営むために必要な支援体制の構築を図っていく必要があると考えております。
「港区認知症になっても安心して暮らせる町をつくり隊」の登録者数	２６人	４６人	４０人	説明会や交流会等で登録者を募った結果、目標値を上回る登録者数となり、認知症の方々を地域で支えあう意識を広めることができました。
障害当事者参加型の啓発活動「あなたと私の架け橋宅急便」開催回数	３回	１回	９回	新型コロナウイルス感染症対策のため、障害当事者が参加する啓発活動を１回しか行うことができませんでしたが、広報なごや等を活用して障害及び障害者への理解の促進に努めました。 引き続き、感染対策に留意しながら、実施回数を増やしていくように努めてまいりたいと考えております。

Ⅳ. 魅力あふれるまちづくり

指 標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和２年度)	目標値 (令和５年度)	実績値に対する評価
港区に魅力を感じている区民の割合（アンケート値）	３５．５％	６２．１％	５０％	「港区のみどころマップ」の作成や「藤前干潟プロムナード事業」の実施等により港区の魅力を発信することで、目標値を上回る実績値が得られたと考えております。
地域の住民によるまちづくりが活発に行われていると思う区民の割合（アンケート値）	２６．８％	４２．８％	４０％	コロナ禍においてもルールを守りながら地域活動が活発に行われたことで、目標値を上回る実績値が得られたと考えております。

Ⅴ. 住民に身近な行政サービス

指 標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和２年度)	目標値 (令和５年度)	実績値に対する評価
区役所・支所窓口における対応に満足している区民の割合（アンケート値）	９８．４％	９５．０％	１００％	窓口サービスに関する意見等を真摯に受け止め、職場で共有し今後の接遇へ反映させる必要があると考えております。
区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思う区民の割合（アンケート値）	１８．８％	３６．５％	２５％	広報なごや港区版および港区ウェブサイトなどでの分かりやすい情報の掲載により、目標値を上回る実績値が得られたと考えております。